

高等学校・大阪市立大学連携数学協議会設立趣意書

(設立主旨)

高等学校数学科教員と大阪市立大学数学科教員が交流し、高校と大学の数学教育の現状・改善および数学研究の動向に関して、情報交換と調査・研究を継続的に行う場とするために、高等学校・大阪市立大学連携数学協議会(略称 連数協)を立ち上げる。

(参加者の範囲)

参加者の範囲は、関西一円(特に大阪府内)の高校教員と大阪市立大学の教員を主とするが、数学科ホームページでの呼びかけにより参加を希望した高校教員はすべて参加可能とする。また、小学校、中学校の教員の参加も可とする。

(役員)

1. 高校側幹事: 土田秀雄(幹事代表;大阪府立天王寺高等学校)、
岩瀬謙一(大阪教育大付属高校天王寺学舎)、
植田隆巳(大阪府立枚方西高等学校)、鎌江明志(大阪初芝学園)、
瀬尾祐貴(大阪教育大付属高校天王寺学舎)、
中原茂樹(大阪市立泉尾工業高校)、林 明裕(清風南海高校)、
深川 久(大阪府立豊中高校)、三輪 雅(大阪府立北野高校)、
2. 大学側幹事: 数学教室主任、今吉洋一、河内明夫、
岡森博和(大阪市立大学非常勤)
3. 大学側窓口担当: 住岡 武、田山育男(大阪市立大学非常勤)

(活動)

1. 年1,2回程度連数協幹事会および連数協を開催し、数学教育と数学研究の最近の話題についての講演会と懇親会を行なう。
2. 高校の数学教育と大学の数学教育を考える場として、次のようなことを行う。
 - (1) 高校数学と大学数学の架け橋を検討する。
 - (2) 大学の数学教育の問題点を、高校数学との関連で調査・検討する。
 - (3) 上記の(1), (2) の活動を通して、高校と大学における数学教育や情報教育の教材開発と授業実践を行う。
 - (4) 高校生や高校教員の数学に関する質問に大学側が答えるように努める(大学の数学関係学科への進路問題も含む)。(Eメールを利用する。)
 - (5) 大阪市立大学数学教室に関する情報をEメールなどにより案内する。
 - (6) 大阪市立大学数学教室が高校の数学教育について、高校側メンバーにアンケートを行うことがある。
 - (7) 連数協が必要と認めた活動は、これを行う。

3. 高校側メンバーが所属高校等に大学数学教員を出向させたい場合には、大学教育に支障のない範囲で、これに応じる。
4. 夏休みなどを利用して、特定のテーマについて研修会や研究会を開催したり、週末などに定期的なセミナーを行うことも出来る。
5. 連数協が高校生や一般市民のための講演会やセミナーを開催する。
6. 大阪市立大学数学教室の次の組織が、連数協に対して協力する。
 - (1) 大阪市立大学数学研究所(この中に連数協本部を設置する)
 - (2) 21世紀COEプログラム「結び目を焦点とする広角度の数学拠点の形成」
 - (3) 大阪市立大学数学研究会